

OLYMPUS

Transform Olympus

真のグローバル・メディカル・テクノロジーカンパニーへの飛躍に向けて

オリンパス株式会社

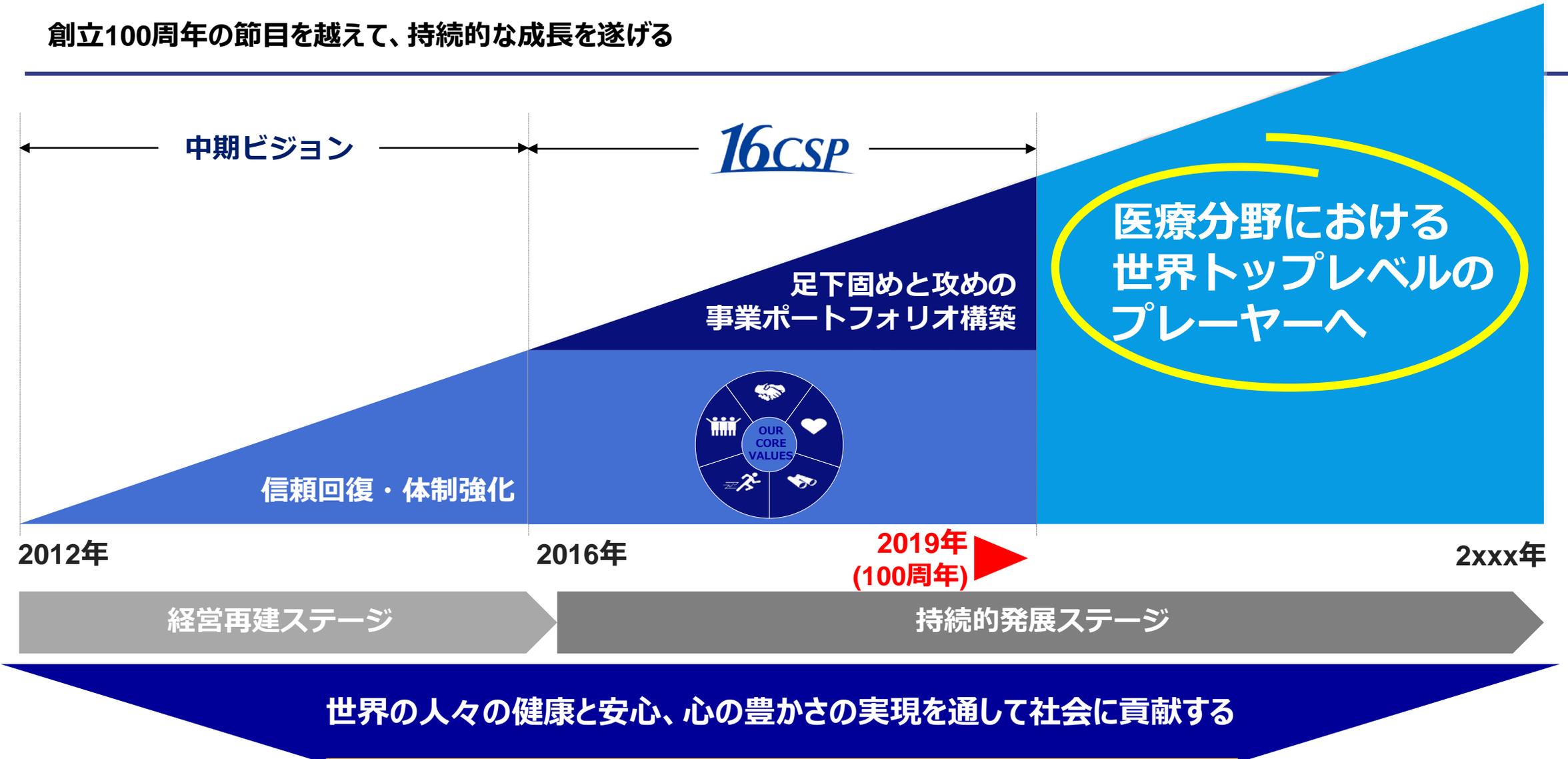
2019年1月11日

免責事項

- 本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。
- また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願い致します。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

これまで、そしてこれから

創立100周年の節目を越えて、持続的な成長を遂げる



「真のグローバル企業」になるための企業変革“Transform Olympus”

「真のグローバル企業」に向けての課題

- 経営意思決定の迅速化、効率化
- リスクマネジメントの一元化
- 人材と機能のグローバル最適配置
- グローバル医療機器企業に伍する事業運営スピードと効率の向上
- 治療デバイス分野の持続的成長
- 営業利益率と資本効率の改善
- グローバル展開に即したガバナンス体制
- 取締役会のダイバーシティ

“Transform Olympus”

グローバル・グループ
一体経営体制へ転換

グローバル人事制度への転換

“Transform Medical”
医療事業の再編成

コスト削減及び資本効率改善
への取り組み

取締役会のダイバーシティ化を
伴う指名委員会等設置会社
への移行

期待する成果

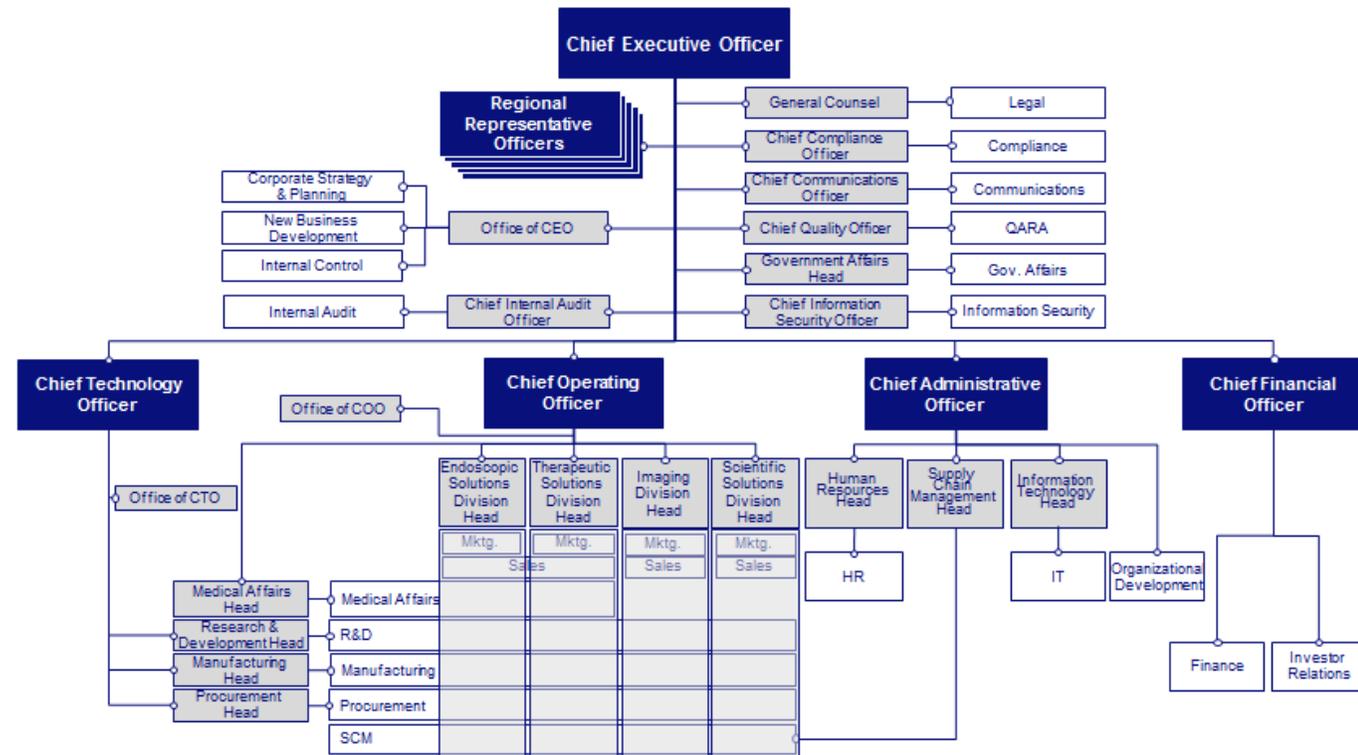
- 新たな執行体制
- 責任の明確化
- 迅速な実行
- 成果を重視する体質
- 高生産性チーム
- 事業特性に即した事業運営体制
- タイムリーな新製品導入
- 患者様への高い医療効果
- 継続的な収益成長
- 更なる投資余力の向上
- 株主還元の向上
- 経営スピードの向上
- 戦略目的に即した取締役会構成
- 取締役会の戦略と長期的責任へのフォーカス

グローバル・グループ一体経営体制へ転換

グローバル経営体制と5名の経営執行責任者によるリーダーシップの強化 迅速な意思決定、リスクの一元化

2019年4月1日付

役職名		名前
Chief Executive Officer (CEO)	最高経営責任者	竹内 康雄
Chief Operating Officer (COO)	事業統括役員	田口 晶弘
Chief Technology Officer (CTO)	技術開発統括役員	小川 治男
Chief Finance Officer (CFO)	財務統括役員	境 康
Chief Administrative Officer (CAO)	人事・IT・SCM・ 組織開発統括役員	Stefan Kaufmann



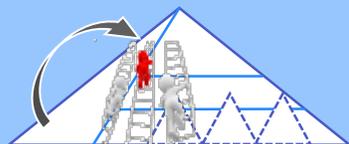
グローバル人事制度を基盤とした成果重視の組織風土醸成

グローバル・グループ統一で事業戦略に沿った適所適材配置を可能にする制度と仕組みを構築

人材マネジメントの方針

1

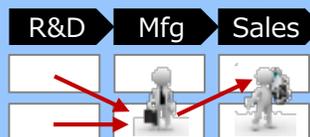
人材の育成



- 早期選抜
- 機能ごとのプロフェッショナル・専門人材の育成

2

人材の登用と配置



- 国籍・年齢を問わない 人材登用・配置
- 人材情報システムの整備

3

人材の確保



- グローバルレベルでの必要な人材の確保
- 人事制度の共通化

4

人事ガバナンス



- グローバルレベルでのキーポジションへの直接的な人事ガバナンス

“Transform Medical” 医療事業の再編 医療事業運営体制の最適化と合理化

持続的成長に向けた取り組み; 迅速で無駄のない事業運営、より効果的かつタイムリーな製品導入による医療事業の成長ポテンシャルの最大化

現行	2019年4月以降	特徴	製品
消化器科呼吸器科事業	内視鏡事業 Endoscopic Solutions Division	<ul style="list-style-type: none"> グローバルビジネス統括拠点：日本 現有の事業インフラ・プロセスの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 消化器科、呼吸器科 及び 外科内視鏡キャピタル製品 ソフトウェア リプロセス 修理サービス システムインテグレーション
外科事業			
泌尿器科婦人科事業	治療機器事業 Therapeutic Solutions Division	<ul style="list-style-type: none"> グローバルビジネス統括拠点：米国 治療デバイスの最大市場であり、豊富な医療クラスターへのアクセスが可能な米国からグローバルの意思決定を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 消化器科、呼吸器科の処置具 エネルギー・デバイス及びその他 外科用シングルユース製品 泌尿器科、婦人科、耳鼻咽喉科製品
耳鼻咽喉科事業			
医療サービス事業			

オリンパスグループ全体でコスト削減及び資本効率改善への取り組み

グローバル医療機器市場における同業他社と同水準まで大幅に改善

A. 営業利益率の改善

取り組み

- 2020年3月期の販売管理費（研究開発費含む）を2018年3月期の水準まで圧縮
 - ✓ 2019年1月よりワーキンググループでの検討始動
 - ✓ 2019年4月～2020年3月の事業年度が対象
 - ✓ 2019年3月期の販売管理費は従来の公表値の通り
- 2020年以降の長期的なコスト削減計画の策定も実施
 - ✓ 2020年3月期 上半期に策定し公表

B. 資本効率の改善

取り組み

- 各事業の設備投資および運転資本の見直し
- 戦略的事業投資と株主還元に向けたフリー・キャッシュフローの持続的な増加

株主価値の最大化 と 世界トップレベルのグローバル・メドテックカンパニーを目指す

指名委員会等設置会社への移行

取締役会の体制をビジネスのグローバル展開に即したものにし、経営の監督を強化する

業務執行の意思決定の迅速化、ガバナンスの強化と透明性の一層の向上

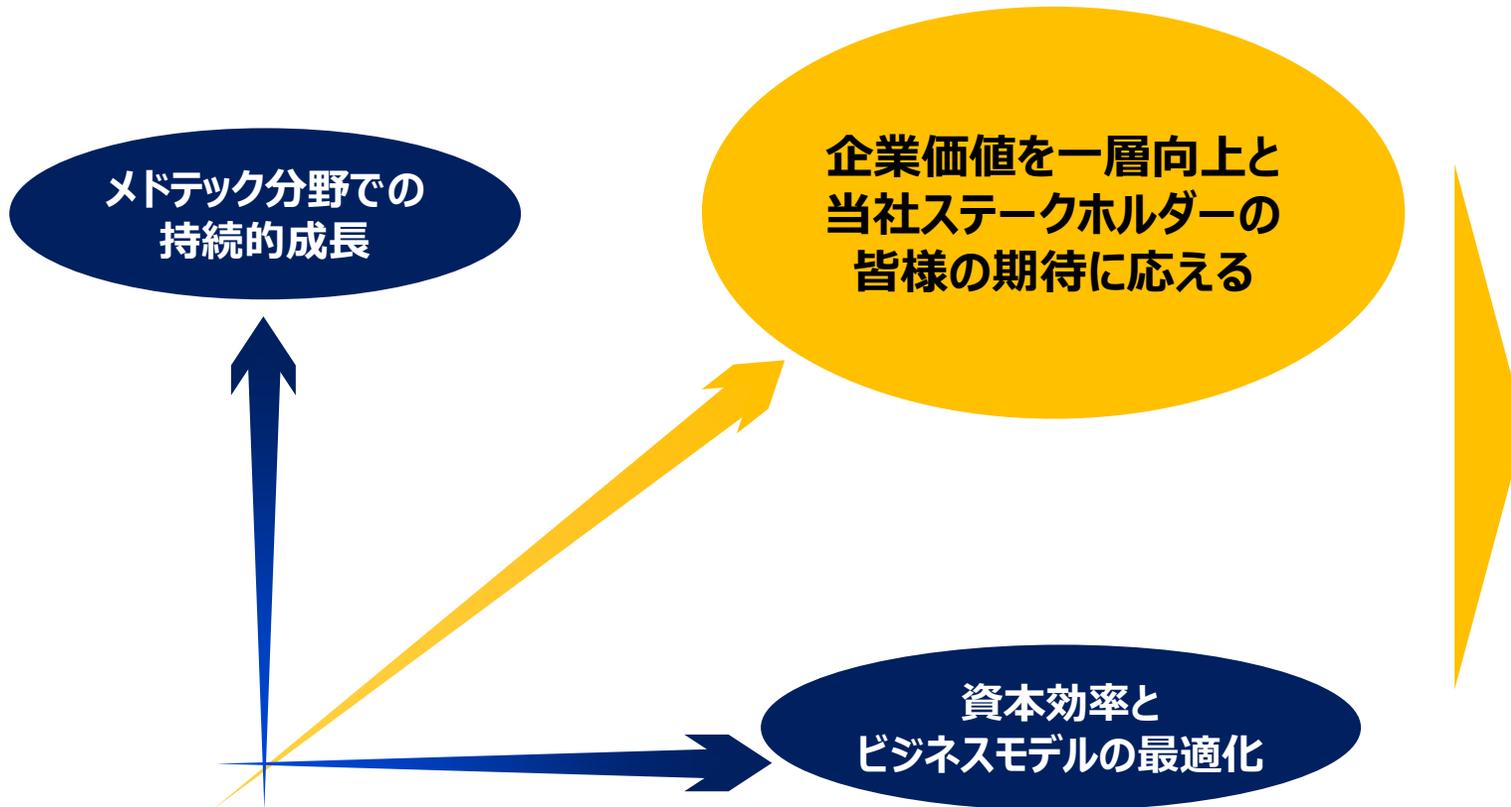
経営陣による戦略及びベストプラクティスの遂行に対する、取締役会の監督機能を強化

経営の機動性を向上させ、グローバルな経営実績を有する取締役候補者の招聘に繋げる

取締役会のダイバーシティー化

グローバルな知見・経験を有する3名の新しい取締役候補者の選任を検討

2019年定時株主総会にてご提案を検討



D. Robert Hale氏

- ValueAct Capital Management L.P パートナー
- 多様な業界におけるグローバル企業の変革を助言した経験及び、グローバルな資本市場やヘルスケア業界における知見を提供

他 新取締役

- メドテック業界のトップクラスの企業における経営実績を有する者など
- 戦略目標の精査と展開におけるベストプラクティスの提供

“Transform Olympus”

グローバル・グループ
一体経営体制へ転換

グローバル人事制度への転換

“Transform Medical”

医療事業の再編成

コスト削減及び資本効率改善への取り組み

取締役会のダイバーシティを実現した
指名委員会等設置会社への移行

OLYMPUS
